



## イノベーション創造 (アイデア創出)講座 2024年10月期

20240820

- 【期間】2024年10月～2025年3月
- 【回数/時間】全 15回 15:00～17:00
- 【受講料】25万円(税別)/人 \*1社5名以上で割引あり
- 【申込期限】第1回開催日 前日まで受付
- 【受講方法】オンライン(双方向)
- 【お勧め】
  - ・ビジネス開発/企画を担当するリーダークラスの方
  - ・イノベーション推進を任されるリーダークラスの方
  - ・ビジネス・プロデューサー及びその候補者の方

「課題に対する知識が足りない、必要な情報が判断できない」

「議論の進め方に悩むことが多い」

「目先の課題に目が向きやすい」

「イノベーションを期待されているのに改善案ばかりが出てきてしまう」

何故そのようなことになるのか。

多くの場合は、正しい思考のテクニックを知らないためです。

本研修は、社会課題の本質を明らかにするというテーマに取り組みながら、アイデア創出のための様々なテクニックを学び修得します。

中期的に広い視座を持つ人材を育成し、他で学べないスキルを身につける。

そのためのリスキリング推進に最適な、開講から5年続く人気講座です。

主催: 合同会社タッチコア

<https://touchcore.co.jp/>

お申込み・お問合せ: [info@touchcore.jp](mailto:info@touchcore.jp)

## 日程&カリキュラム

10/8(火)	第1回	<b>オリエンテーション&amp;ビジネスモデル基礎</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・講座紹介・講座内基本ルール、自己紹介</li><li>・ビジネスモデル基礎</li><li>-ビジネスモデルの歴史</li><li>-ビジネスモデルの定義</li><li>-ビジネスモデルが注目される訳</li></ul>
10/22(火)	第2回	<b>4つの環境課題・3つの社会課題</b> <ul style="list-style-type: none"><li>-SDGs に一般企業が挑戦するのは苦しい</li><li>-環境課題・社会課題を再定義し挑戦する</li><li>-SX(Sustainable Transformation)への挑戦</li><li>-Sustainable Company への変革</li></ul>
10/29(火)	第3回	<b>内発的動機と言語化</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・課題を解決したい理由</li><li>-私はこの課題を解決したい</li><li>-説明・説得する能力の育成</li><li>-人々を巻き込む力を得る</li></ul>
11/12(火)	第4回	<b>ブレストの正しい実施方法</b> <ul style="list-style-type: none"><li>-知識や常識が自由な発想を妨げる</li><li>-自由な発想を促進するには</li><li>-正しいブレインストーミングの方法とは</li><li>-ブレストによる、更なる高めに発想を昇華させる方法とは</li></ul>
11/26(火)	第5回	<b>バイアスからの解放</b> <ul style="list-style-type: none"><li>-バイアスとは何か</li><li>-バイアスを理解して行動する</li><li>-バイアスから逃れる方法</li></ul>

12/10(火)	第6回	<b>問いかけの技術でブレストをパワーアップする</b> -イノベティブ思考に必要な思考の「発散」と「収束」 -創造的対話とは -「問い」の設定
12/24(火)	第7回	<b>クリティカルシンキング入門</b> -クリティカルシンキングとは何か？ -クリティカルシンキング演習(Ⅰ)、(Ⅱ)、(Ⅲ)-既存のデジタルビジネスのモデルを分析する
1/7(火)	第8回	<b>ビジネスモデル・イノベーションの基礎知識</b> -ビジネスモデルとは何か -企業価値を特定する -ビジネスモデル・イノベーションの定義
1/14(火)	第9回	<b>ビジネスモデル・イノベーション演習(Ⅰ)</b> -55 のビジネスモデルのパターンから新たなビジネスを創出する -マジックトライアングルのうち 2 つ以上を変革する方法を体得する
1/28(火)	第10回	<b>ビジネスモデル・イノベーション演習(Ⅱ)</b> -デジタルのビジネスモデル 15 パターンを理解する -デジタルのビジネスモデルを適用する方法 -既存のデジタルビジネスのモデルを分析する
2/4(火)	第11回	<b>社会課題への挑戦(Ⅰ)</b> -4 つの環境課題・3 つの社会課題のうち自チームが深掘りするのは何か -チームディスカッション、「志」高く取り組むべき課題を選び出す -選択した課題への対処方法について議論する

2/18(火)	第12回	<b>ラテラルシンキング演習</b> -ラテラルシンキングとは何か -他の思考法との明らかな違いを意識する -柔らかく頭を育成するための方法論とは
3/4(火)	第13回	<b>強制発想法</b> -アイデアが全く発想出来ない場合の対処法 -オズボーンのチェックリストの活用法 -チーム内での連携方法について
3/18(火)	第14回	<b>社会課題への挑戦(Ⅱ)</b> -チームでイノベーション創造のためのディスカッションを実施 -多様性を高めたチームの意見を如何に纏めなくて議論するか -遠慮しない議論の場を如何に作り出すか
3/25(火)	第15回	<b>社会課題への挑戦(Ⅲ)</b> -環境課題・社会課題についてのイノベーション・アイデアを発表

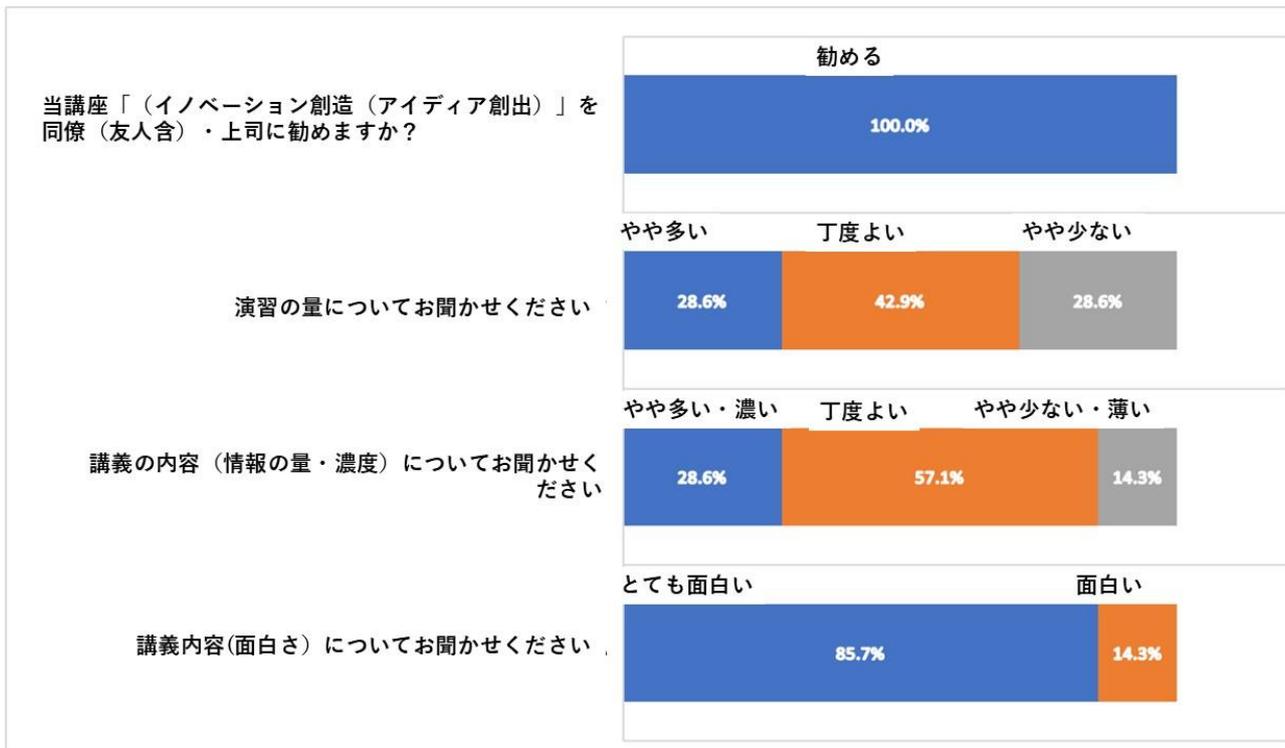
\*カリキュラム内容は進捗等にあわせ、適宜調整・変更されます

\*研修内で使用する参考書籍は各自手配となります

✓最終回には、各チームから4つの環境課題・3つの社会課題から1つをテーマにしたイノベーション・アイデアの発表を行います。

✓最終回は、派遣企業さまからの聴講も可能です。

## 【受講者アンケート】



### —当該講座にて、得たもの・良いと思ったことをお聞かせください—

- ・演習を重ねることで新しい発想の出し方を学びました。私個人として自部署でも勤続年数が長い方で凝り固まった発想しか出せていなかったかと思えます。研修で習った内容を現場で役立てられるようになります。
- ・現状の問題から課題を設定する時に未来を想像しありたい姿になるためにどのようなプロセスを作り上げればよいか、どのようにアイデアを発想していくかの手法を得る事が出来て、大変有意義な研修でした。
- ・ビジネスモデル構築の難しさがよくわかった。
- ・創造力を広げるための手法の学び。
- ・企業のESG活動に興味を持つことができた。また新しい発想の創出方法のテクニックを学ぶことができた。
- ・凝り固まった考えに対して逆転の発想、常識外れの思考を行うことでアイデア創出ができること体感できたこと。
- ・アイデアを出すための取り組み方、方法を演習を通じて学ぶことができました。講義を聞くだけではなく、様々な演習があり刺激的でした。
- ・様々なフレームワークに触れる機会があり考え方の幅が広がった
- ・会社外の方とディスカッションが出来、新しい意見を得ることが出来た。

\* 受講者業種(製造/IT/電気機器/建設/大学生)